

## 熱中症災害防止ランプ

目的：朝礼又は打ち合わせ時に、当日の熱中症指数を発表し、作業員に注意を促しているが、気温の捉え方は人によって異なり、警戒意識を持たせる事は難しい。そこで、ランプの点灯により、作業中の高気温状態を視覚的に訴える事で、熱中症予防の意識を喚起する事ができる。

機能：気温が 30℃を超えると、黄色のランプが点滅・回転、35℃を超える際は、赤色のランプが点滅・回転する。

電源はソーラーパネルにより、太陽光を利用している。

